Course	nun	mber U-LAS40 20038 SJ26												
Course titl (and cours title in English)	e 月	凶と心の生命機能ゼミナール I rain and Mind for Life Functions I					name and d	Instructor's name, job title, and department of affiliation			Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, KOMURA YUTAKA			
Group	He	alth and	lth and Sports				Field(Classification)			lealth and Sports Sciences(Development)				
Language of instruction		Japane	ese				group			Number of credits 2		2		
Number of weekly time blocks		1	1 Class style		10	eminar (Face-to	-face cou	ce course)		Year/semesters		2025 • First semester		
Days and periods		Wed.2		Targe		get year	All stud	ents		Eligible students		For all majors		

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

脳は、私たちが誕生してから、環境とのインタラクションを介して、様々な形で、心的機能を発揮していきます。タンパク質の塊である脳から、どのように知・情・意が生まれるのか、神経科学の知見のレビューや人工知能との対比から、参加者との議論を交えたゼミナール形式で行います。本授業を通して、健やかな生命・私たちの日常生活を支えている脳・心の理解を深めることを目指します。

[Course objectives]

脳と心のしくみを、生命機能と関連づけて理解するニューロサイエンスの素養を築きます。また、自然知能を有している脳と、現在の人工知能と対照させながら、そのアルゴリズムについての理解を深めます。参加者には、議論に参加してもらうことで立案・発表する力を養い、生命機能への洞察を高めることで、健やかな日常生活を送る土台を作ってもらうことを目標とします。

[Course schedule and contents)]

第1回:イントロダクション 授業の進め方と準備・発表の方法を周知する。第2回以降毎回一人ずつ、担当トピックの発表を行ってもらう。準備にあたっては、状況に合わせて、こちらから個別にサジェスチョンを行うので、それを元に、理解を深めてもらう。

第2回から第14回:各授業では、下記のテーマを扱う。発表者は、各題材について、事前に資料を まとめ、参加者と議論する。各発表と議論を踏まえて、神経科学、認知科学、計算科学における背 景と動向について、随時、教員から解説を加えていく。

- a)脳の構造と機能
- b)心の構造と現象論
- c)人工知能と自然知能

|第15回:フィードバック(総合議論)

[Course requirements]

履修希望者は,全学共通科目の講義科目の『脳と生命のシステム科学』を受講中・済であることが 望ましい。

Continue to 脳と心の生命機能ゼミナール I (2)

脳と心の生命機能ゼミナールI (2)
[Evaluation methods and policy]
出席と参加の状況、議論への参加状況の総合評価。詳しくは授業中に説明する。
[Textbooks]
Not used
[References, etc.]
(References, etc.)
Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
事前にトピックが知らされたら、関連資料などを一読し、当日の議論に備える。
[Other information (office hours, etc.)]